**職務経歴書**

●年●月●日 現在

氏名　いい求人　太郎

**［職務概要］**

2018年に●●大学を卒業後、同年4月に株式会社●●に入社し、初心者向け着付け教室の企画運営、及び店頭販売接客を担当しておりました。

**［職務経歴］**

■2018年4月～現在　株式会社●●（正社員）

●事業内容：きもの・アパレル・宝飾・寝装寝具・健康関連の企画及び販売、きものレンタル、きものメンテナンス、フォトスタジオの運営、着付け教室の運営

●資本金：○○円　従業員数：○○名　設立：○○年○○月

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 2018年4月  ～  現在 | ●●事務局  【業務内容】  ・着付け教室の企画  ・振袖客、催事客、フォトスタジオ客への着付け教室提案  ・着付け講師  ・着物の販売、レンタル接客  ・企画による売り上げ管理  ・着付け教室でレンタルする着物のコーディネート、管理    【主な実績】  　2018年9月 申込人数7名 売上高23万円  2018年10月 申込人数12名 売上高83万円  2018年11月 申込人数0名 売上高77万円  2018年12月 申込人数0名 売上高139万円  2019年1月 申込人数10名 売上高13万円  2019年2月 申込人数6名 売上高355万円  2019年3月 申込人数2名 売上高299万円  2019年4月 申込人数9名 売上高133万円  2019年5月 申込人数0名 売上高42万円  2019年6月 申込人数7名 売上高236万円  2019年7月 申込人数12名 売上高355万円 |

**［資格］**

・普通自動車第1種免許（2018年2月取得）

**［活かせる経験・知識・技術］**

**事務処理能力**

Word、Excelを使用して資料作り、数字の管理など行っておりました。Excelは簡単な関数を用いて表などを作成しておりました。運営管理店舗巻き込んで集客を行い、各店舗で教室を開催する際に、どういう企画で行うか共有、伝達を担当しておりました。

**接客経験**

店頭では10代から80代までの幅広い方に接客を行っており、着付け教室でも10代から60代までのお客様に着付けを教えておりました。

**［取り組みと成果］**

・企画をスタートするにあたってマニュアル整備、各店担当者の勉強会を月1回開催することで、7店舗で教室開講することができた。

・お客様へのモチベーションの仕方を上司や先輩から学ぶことで着付け教室継続や売り上げに貢献した。

・着付け技術や着物の知識を積極的に学ぶことでお客様からの信頼を得ることができた。

・お客様へ親しみやすい姿勢を心がけることで、本音で話してもらえることが多く、販売に役立てられた。

・着物業界の新しい取り組みとしてテレビ信州、長野放送、信濃毎日新聞、長野市民新聞等多数のメディアに取り上げられた。

**[自己ＰＲ]**

**コミュニケーション能力**

10代から80代以上の幅広い年代への接客・販売をしており、特に10～20代と40～60代のお客様が多く、10～20代は友達のような感覚になってもらえるような接客、40代～60代は娘のように思っていたただけるような接客を心掛け、長野の地域のおいしいお店のお話や雑談を交えながらお客様との距離を縮めておりました。結果、着物の魅力に関してもしっかり聞いていただき、リピーターになっていただけたり、着付け教室に参加いただけるような関係性を築くことができたり、またプライベートも良くしてくださるお客様もいました。

**ニーズ喚起力**

目的を持ったお客様に対してそれだけを提案するのではなく、長期的なお付き合いをするため、着物自体を好きになってもらうような接客、提案を心掛けておりました。例えば、成人式で振袖を着ていただいた後にアプローチをしたり、実際に着付け教室の体験をしてもらったり、着物の魅力を実体験で感じてもらうようにしておりました。着付け教室はハードルが高いと感じているお客様に対しては、自分が講師であるという身近に感じてもらうアプローチや手ぶらで参加できる気軽さをアピールして参加していただいておりました。結果、初心者の着付け教室に通われ、継続して教室に通っていただく方や、リピーターになり着物のご購入をいただく方が増え、着付け教室では、終わるのが寂しい、●●さんに引き続き教えてほしいなど、嬉しい言葉をいただくことができました。

**自走力**

着付け教室の講師をするにあたり、講師経験がなく戸惑いましたが、試行錯誤しながら業務を進めることで自分なりの講師のやり方を見つけることができました。例えば、一度教えるだけだと理解力にばらつきが生じるため、幅広い視野をもって躓いている方がいれば、近くで丁寧に分かるまで教えるなど心掛けておりました。また生徒の方から問い合わせをいただくことがあり、着物の知識は奥深いため、問屋さんから知識を習得するなど現状に満足せず努力をしておりました。

以上